

第3期中期目標案に対する評価委員意見

前橋工科大学第3期中期目標の策定に当たっては、中期目標（素案）に対する評価委員の意見を聴取しました。

・評価委員会開催日

令和6年6月10日（月）

No.	種類	内容
1	意見	学部教育、大学院教育において、教育の質保証のための学修成果の可視化に取り組むとともに、卒業生の資質・能力等を保証することが求められているが、「内部質保証のためのPDCAサイクルを確立し」という文言だけでもよろしいか。
	市の考え方	学修成果の可視化に関する文言を追加する。
	該当項目	学生の効果的な学修活動を支援するため、入学時から卒業までのカリキュラムの明確な体系化と内部質保証のためのPDCAサイクルを確立するとともに、学修成果の可視化及び卒業生の資質・能力等の保証に取り組み、教育の質の向上を図る。また、デジタル分野などの社会環境の変化に柔軟かつ的確に対応できる能力を養い、市内産業分野をはじめとして社会の様々な分野で専門技術者として活躍することのできる人材を育成する。
2	意見	多様な学生への対応を明示するために、履修、学修、メンタルヘルスだけでなく、障がい、ジェンダーを加えなくてもよろしいか。
	市の考え方	障がい、ジェンダーについては、時代の流れもあり、工科大で対応しているところである。また、障がい、ジェンダーの学生は全ての学生に含まれると考えている。
	該当項目	全ての学生が安心して学生生活を送れるように、履修、学習、メンタルヘルスに関する学生支援を充実させる。

3	意見	「……学生へのサポートを実施する」とあるが、通常業務として学生のサポートはすでに実施されているわけであり、新規の目標として「実施する」となると、これまでの対応はどうだったのかと問題視されかねないと思う。たとえば「より充実させる」「実効性のあるサポートを行う」などの具体的な表現がよいと考える。
	市の考え方	「実施する」から「充実させる」に改める。
	該当項目	全ての学生が安心して学生生活を送れるように、履修、学習、メンタルヘルスに関する学生支援を充実させる。
4	意見	「地域の将来を担う子ども達に」とあるが、広い意味では高校生も「子ども達」に含まれますが、ここは「児童・生徒」という、対象を具体化した表現がよいと思うが、どうか。
	市の考え方	子ども達には、幼児も含まれるため、広い意味として子ども達という表現とする。
	該当項目	地域の将来を担う子ども達に、工学の面白さや、生活と密接に関連する学問分野を知ってもらい機会を幅広く提供する。
5	意見	成果や達成度合いをどのように表現していくかが読み取りにくい目標が多いように感じる。
	市の考え方	中期目標は、業務運営に関する目標であり、それを達成するための計画として法人が中期計画を定めることとなる。また、その中期計画の中で指標を定め、達成度合いについて確認する。そのため、目標自体に達成度合いを確認するための情報は不要と考える。
	該当項目	—
6	意見	中期目標はこれで結構だと思うが、年度ごとの計画を策定したり評価したりする際には、組織としての具体的な取組みを明確にした上で、KPIの設定も重要となる。これを意識して計画を設定していただくよう、お願いしたい。
	市の考え方	法人と情報を共有する。
	該当項目	—